2026 RMC APG / SL APG

特別規則書

2025.10.28 発行

2025.11.17 改定

2026. 1. 1 改定

AUTO PARADISE GOTEMBA
OYAMA-CHO OMIKA Circuit

ROTAX RACING

SLO SLカートスポーツ機構
SL kartsports Organization

オートパラダイス御殿場
小山町大御神サーキット

公　示

本大会は、FIA 国際モータースポーツ競技規則・国際カート規則ならびにそれに準拠した
国内競技規則・JAF 国内カート競技規則とその付則及び 2026年度 SL メンバーズブック・
Global ROTAX MAX Challenge Technical Regulations 2026及び特別規則書、更に
本大会特別規則書・付則に従って開催されます。
なお YAMAHA カデット オープン / YAMAHA SS / YAMAHA スーパー SS クラスは
SL 規定を採用する為、「SL 認定クラス」となります。

第 1 章 大会開催に関する事項

第 1 条 競技会の名称
・2026 RMC APG / 2026 SL APG

第 2 条 競技種目・区分
・1. 種目：スプリントレース
・2. 区分：1種競技車両（JAF 国内カート競技車両規則に定める車両）

第 3 条 競技の格式

1. RMC APG
クローズド レース
Micro MAX / Mini MAX / MAX Lights /
MAX Lights KYOJO /MAX Lights Junior /
MAX Masters / Junior MAX / Senior MAX

2. SL APG
クローズド レース
CADETS FRESHMAN / YAMAHA カデット オープン /
YAMAHA SS / YAMAHA スーパー SS / APG KT /
IAME REED JET / TILLOTSON 4st / APG X30 /

第 4 条 オーガナイザーの名称
・有限会社サンアイプロジェクト 代表取締役 安達 孝博
〒410－1308 静岡県駿東郡小山町大御神 922－8
TEL 0550（88）8246 / FAX 0550（88）8377

第 5 条 大会役員及び競技役員
・公式プログラムに記載

第 6 条 クレデンシャルの着用
・本大会に参加する全ての者は場内ではオーガナイザーが発行したクレデンシャルを
付けなければならない。

第７条　開催場所と日程

・開催場所：オートパラダイス御殿場

２０２６ APG RACE 日 程 表

２０２５年 １０月 ２６日現在

	コース	SL APG SERIES								RMC APG SERIES							
	レイアウト	CADETS FRESHMAN	YAMAHA カデット オープン	APG KT	YAMAHA SS	YAMAHA スーパー SS	APG X３０	TILLOTSON ４ｓｔ	IAME REED JET	Micro MAX	Mini MAX	MAX Lights	MAX Lights KYOJO	MAX Lights Junior	MAX Masters	Junior MAX	Senior MAX
２月　１日	ハイスピード	1	1	1	1	1	1	1	1								
３月１５日										2	2	2	2	2	2	2	2
４月　５日		2	2	2	2	2	2	2	2								
４月２６日										3	3	3	3	3	3	3	3
５月２４日		3	3	3	3	3	3	3	3								
６月２１日										4	4	4	4	4	4	4	4
７月４,５日		IAME JAPAN CUP ２０２６															
７月２６日		4	4	4	4	4	4	4	4								
８月２９/３０日		２０２５ AUTO BACS GPR KARTING SERIES Runod ７/８															
９月１３日										5	5	5	5	5	5	5	5
１０月　４日		5	5	5	5	5	5	5	5								
１１月　８日										２０２７年 第１戦	２０２７年 第１戦	２０２７年 第１戦	２０２７年 第１戦	２０２７年 第１戦	２０２７年 第１戦	２０２７年 第１戦	２０２７年 第１戦
１２月　６日		6	6	6	6	6	6	6	6								

※1　**2026年 RMC APG シリーズ第１戦**　2025年11月02日（日）

※2　**IAME JAPAN CUP 2026**　2026年07月04日（土）5日（日）

※3　**GPR SERIES in APG**　2025年08月29日（土）30日（日）

第8条　大会の延期及び中止

・「JAF 国内カート競技規則カート競技会組織に関する規定」第 1 章 第 6 条に基づき、主催者は大会審査委員会の承認を得て、大会の一部あるいは全部を延期、中止または取り止めることができる。大会の全部を中止あるいは 24 時間以上延期する場合は、参加料金は全額返金されます。ただし天災地変の場合はこの限りではなく、保険料は返金されません。なおエントラント及びドライバーはこれによって生じる損失について抗議する権限を有しない。更に主催者は審査委員会の承認を得て大会の内容を変更する権限も併せて保有するものとします。又これに対する抗議は一切認められません。

第9条　公式通知の発行

・本規則に記載されていない競技運営上の細則や参加者に対する指示、本規則発表後に生じた必要事項は公式通知によって示されます。 公式通知は

※1　大会事務局により提出され、パドックの公式掲示板に掲示されます。

掲示場所はコンプレッサー室前、走行結果表はAPG HPでも発表されます。

APG HP：https://apg-gotemba.com/

各特設イベントページにてリザルトと同様に発表させます。

※2 ドライバーズブリーフィングで告知します。

※3 緊急の場合は、場内放送によって伝達される。以上の方法によって参加者に通告されます。

第 2 章 競技会参加に関する事項

第10条 参加定員

・参加受付台数は各クラス共 60 台までとし、台数を超えた場合は大会事務局で選択する。ただし予選グリッドは 34 台とします。各クラスエントリー締め切り時点で参加台数が 5台未満の場合は当該クラス不成立とし、エントリー料金は全額返金されます。ただしエントリー締め切り後の返金は一切されません。

第11条 参加資格 (SLレースの参加者全員、SLメンバーカード・メンバーズブックの2点を所持する事)

※1 エントラント：2026年度JAFが発給したエントラントライセンス所持者であること。又は主催者が認めたエントラントであること。

※2 ドライバー ：JAF 及び2026度 SLOが 発給した期限有効なカートドライバーライセンス及び2026年SL メンバーズブックの所持者。(SL安全協力会の加入 必須)

※3 クラスごとの年齢制限：18歳未満のドライバーがエントリーする場合は、親権者または保護者の出場承諾書を主催者に提出しなければなりません。

※4 出場資格 (車両規則書に掲載)

Micro MAX	小学1年生～中学1年生	コースライセンス以上 or SL-カデット or SL-B or JAF 国内 JrB
Mini MAX	小学3年生～中学2年生	SL-カデット or SL-B or JAF 国内 JrB
MAX Lights	15歳 以上	コースライセンス以上
MAX Lights KYOJO	14歳 以上 ※2	
MAX Lights Junior	11歳以上	
MAX Masters	25歳 以上	JAF 国内 B 以上 or JAF 国内条件付き以上 or SL-B 以上 国際 E
Junior MAX	小学5年生～17成	JAF 国内 JrB 以上 orJAF 国内B以上 Jr(国際G) Se(国際F,E)
Senior MAX	14歳 以上	
CADETS FRESHMAN	小学 1 年生 以上	コースライセンス 以上
YAMAHA カデットオープン	小学2年生 以 上	SL-カデット or SL-B
YAMAHA SS	小学6年生 以上	SL-B 以上
YAMAHA スーパーSS	30歳 以上	
APG KT	13歳 以上	コースライセンス 以上
IAME REED JET		
TILLOTSON 4st		
APG X30		SL-B 以上 or JAF 国内 JrB 以上 or JAF 国内 B

※1 MAX Masters クラスはカートライセンス条件付きドライバーと通常競技ライセンス保持者が混走となります。
(JAF へ申請し、許可のもと開催する。)

※2 KYOJOクラス出場年齢の変更 15歳以上→14歳以上 2025,11,17 変更

※3 カートライセンス条件付きドライバーが使用する車両は、
ハンドアクセルハンドブレーキが搭載されたリブレ車両となります。
※4 MAX Masters クラスにおいては通常のコース安全対策と違ったサポートを導入・実施。又は競技に関する注意事項を参加者全員に告知し、承認を得た上で競技を開催となります。
※5 カートライセンス条件付きドライバーを明確にする為に車両ゼッケンは3桁となります。

第 12 条　参加申込先及び受付期間

・参加申込受付期間は大会開催日1ヶ月前より大会開催1週間前までとなります。
・参加料金は受付期間内に APG にて現金精算、または下記口座にて振込を済ませてください。なお、発生する手数料は自己負担となります。
振込先：沼津信用金庫　上町(かみちょう)支店　(普通)　1217286
有限会社サンアイプロジェクト

大会開催日 6 日前以降の参加申込の場合は遅延金として￥2,200（税込）が参加料に加算されます。

・FAX やWebエントリーによる参加申込の場合は、**締切日までに参加申込用紙/原本の提出(郵送可)及び該当ライセンスの写し、参加料の払い込みをしてください。(発送費等は自己負担となります)**
・参加申込書は参加料と保険料を添えて下記書類を必ず記入し提出しなければなりません。

※1　参加申込書

参加申込先：オートパラダイス御殿場

〒410－1308　静岡県駿東郡小山町大御神922－8

TEL 0550(88)8246 / FAX 0550(88)8377

※2　競技会参加に関する誓約書：参加申込誓約書欄に署名・捺印のこと。

・Web エントリーについて
APG ホームページにて Web エントリーをレース開催 1 か月～1 週間前まで受付してください。なお、Web エントリーは仮エントリーとなるので、後日改めて参加申込書の提出が必要となります。また上記受付期間内に参加料の支払いがない場合、遅延金が発生する場合があります。

ARG RACE WEB エントリーURL
※http://www.apg-kart.com/racing.php#a06

第13 条　参加料及び保険料（ドライバー1 名/メカニック1名分を含む）
SL APG　SERIES(各戦ごと)

【CADETS FRESHMAN / APG KT / IAME REED JET / TILLOTSON 4st】クラス
会員/非会員（計測器込み）　10,000円（税込み）

【YAMAHA カデット オープン / YAMAHA SS / YAMAHA スーパーSS / APG X30 】クラス
会　員（計測器込み）　15,000円（税込み）
非会員（計測器込み）　17,000円（税込み）

RMC APG SERIES（各戦ごと）

【MAX Lights KYOJO 】クラス

会員/非会員（計測器込み） 10,000円（税込み）

【他クラス】

会 員（計測器込み） 15,000円（税込み）

非会員（計測器込み） 17,000円（税込み）

1）振込の際には、クラス名・ドライバー名を必ず記載してください。
追加ピットクルーがいる場合は WEB エントリーに必ず記載してください。

2） 遅延申込の場合、予め事務局に対して連絡した場合のみ申込を受ける事があります。ただし、正規のエントリーフィーに遅延手数料として¥2,200 が加算されます。

第 14 条 保険料

・全ての参加ドライバー及びピットクルーは「JAF 国内カート競技規則」第 11 章 第 33 条～34 条に基づき、傷害保険に加入しなければなりません。なお SL 当該クラスに参加する全てのドライバーは「SLO 安全協力会」に加入する事を義務付けるものとします。尚その他のクラスについては推奨とします。（SL メンバーズブック参照）

または練習時を含めて健康保険証を携帯してください。メカニック追加登録保料は1名に付き￥1,100（税込）となります。

第 15 条 参加受理と参加拒否

・参加申込者に対して大会事務局より参加受理または参加拒否が通達されます。参加拒否された申込者に対して参加料は返還されますが、事務処理経費として￥2,200（税込）を差し引かれます、又は参加を受理された後に参加を取り消す場合、参加料は返還されません。

第 3 章 エンジン及びカートに関する事項

第 16 条 参加車両

・本特別規則書の技術規定に準拠してください。

第 17 条 共通規定

・競技に使用するシャーシー、エンジン、及びタイヤは車両申告書に登録済みのものとし、下記の通りとします。

<table>
<tr><td></td><td>エンジン</td><td>シャーシー</td><td colspan="2">タイヤ（登録タイヤ）</td></tr>
<tr><td>Micro MAX</td><td rowspan="8">2基</td><td rowspan="17">1台</td><td rowspan="8">ドライ・

ウェット</td><td rowspan="8">タイムトライアル～
決勝ヒートまで</td></tr>
<tr><td>Mini MAX</td></tr>
<tr><td>MAX Lights</td></tr>
<tr><td>MAX Lights KYOJO</td></tr>
<tr><td>MAX Lights Junior</td></tr>
<tr><td>MAX Masters</td></tr>
<tr><td>Junior MAX</td></tr>
<tr><td>Senior MAX</td></tr>
<tr><td>CADETS FRESHMAN</td><td rowspan="9">1基</td><td rowspan="9">共に

1セット

とする。</td><td rowspan="8">公式練習～決勝ヒートまで</td></tr>
<tr><td>YAMAHA カデット オープン</td></tr>
<tr><td>YAMAHA SS</td></tr>
<tr><td>YAMAHA スーパー SS</td></tr>
<tr><td>APG KT</td></tr>
<tr><td>IAME REED JET</td></tr>
<tr><td>TILLOTSON 4st</td></tr>
<tr><td>APG X30</td><td>タイムトライアル～決勝まで</td></tr>
</table>

1） 本規則エンジンに関する事項で規定する当該エンジンを搭載し、
「2026年JAF国内カート競技車両規則」第２章に合致する第１種車両で、かつ以下の条件を満たすこと。
2） 「JAF国内カート競技車両規則」第９条に合致するサイドボックス・フロントパネル・フロントフェアリングを必備とする。
※SL認定クラスとMAXクラスは過去に公認を取得してあるものの使用を認めます。
3） バンパーは前後とも必備とし、その取り付け方法については
「2026年JAF国内カート競技車両規則」第２章 第７条に従うこと。
4） チェーンガードは必備とし、その取り付け方法については
「2026年JAF国内カート競技車両規則」第２章 第１２条に従うこと。
5） 排気装置については「2026年JAF国内カート競技車両規則」第２章 第２２条に従うこと。
6） 車両登録申込書には、シャーシー番号・エンジン番号・タイヤ種類を記入してください。
※車両申告書に基づき、車両検査に合格したもののみが競技に参加できます。
（Wエントリーの場合、シャーシーの登録台数は１クラス１台まで認めるものとします。）
7） シャーシーの交換規定（登録したシャーシに不具合が生じた場合）
競技中の事故等によって登録したシャーシーが使用不能となった場合に限り、
未登録のシャーシーに交換し、次のヒートに参加することができます。
尚、変更（交換）の申請は下記の要項を全て満たし、かつ各ヒートのスタート20分前までに、大会審査委員会の許可を得ることを前提とします。
① 車検長が該当シャーシーを走行不能または修理不能と判断した場合。
② 次の出走予定ヒートに間に合う場合。

※出場時間に遅延した場合は、該当ヒートの参加は認められません。(DNSとなります)

③ シャーシー交換申請手数料¥5,000(税込)を事務局に支払い。
シャーシー交換登録の手続きを事務局に提出すること。

④ シャーシー交換後のグリッドポジションは最後尾となります。又、シャーシー交換によって最後尾スタートの車両が複数いる場合は、前ヒートの成績順となります。なお、公式練習後の変更(交換)はタイムトライアルの結果に反映されます。また、タイムトライアルに参加はできますが、タイムリザルトは残ることなく成績はNo Timeとなり、予選ヒートのグリッドは最後尾となります。

8) 各クラスのドライ・ウェットタイヤは1セットとし、グルーピング(加工)は禁止とします。公式車検時に登録したものに限ります。(1大会1セットとします。)ただし不慮のトラブルの場合は、技術委員長の承認のもと、中古品(同等以下)1 本のみ交換が認められます。

9) タイヤには主催者が指定したゼッケン番号を参加者が公式車検までにタイヤの両側に記入して受けください。

10) タイヤに使用するエアーとして窒素ガスを使用することは認められません。

11) タイヤ位置については、ドライ・ウェット問わず前後輪ともカウル外装品とリアプロテクションの一番外側から 1mm 以上、外に出ている事とします。
RMCシリーズ/APG X30はJAF規定となります
SLシリーズはSL規定となります。
(APG KT/IAME REED JET/TILLOTSON 4stクラスは対象外となります。)

※ 封印

1) シリンダーヘッド・シリンダーヘッドナットには車検の際、封印の為の穴をそれぞれ1つ施さなければなりません。

2) 封印(マーキング)が外れそうな状態になった場合は、事前に技術委員長に申し出てください。封印(マーキング)に関する故意の違反があった場合は、当該競技は失格となります。

※ 最低重量

1) 各クラスの最低重量は下記の通りとなります。

2) 「JAF 国内カート競技規則」第 2 章 第 6 条(4)に基づき、最低重量を満たす為、バラストを積む必要がある場合は、全て固形材料を用いて、ボルト・ナット(2 本以上推奨)で堅固に取り付けなければなりません。

※ ゼッケンナンバー

1) 「JAF 国内カート競技車両規則」第 2 章 第 28 条に従った競技ナンバーを前後及びサイドボックス両側面に取り付け、大会事務局から配布したものを使用してください。

2) 競技ナンバーは各クラス共、指定の範囲以内の中から希望ゼッケンを選択できます。(4～99 番までとします) ただし希望ゼッケンが重複した場合は受付順(必要書類/原本の提出と参加費の支払いを済ませていること)となります。

3) 競技ゼッケンは1度出場したクラスについては、2026年を通して同一ゼッケン(固定ゼッケン) となります。
もしシリーズ中に変更した場合は事務手数料として¥2,200を支払いください。

4) 各クラス 1～3 の番号は前年度の上位成績のものが優先とします。

5）各クラス共、下地については各自で用意すること。

クラス	最低 重量	ゼッケン 下地	ゼッケン 文字
Micro MAX	105kg	黄色	黒色
Mini MAX	115kg		
MAX Lights	160kg		
MAX Lights KYOJO	150kg		
MAX Lights Junior	145kg		
MAX Masters	165kg		
Junior MAX	145kg		
Senior MAX	160kg		
CADETS FRESHMAN	100kg		
YAMAHA カデット オープン	110kg		
YAMAHA SS	145kg		
YAMAHA スーパー SS	153kg		
APG KT	150kg		
IAME REED JET	150kg		
TILLOTSON 4st	155kg		
APG X30			

※1 MAX Lights KYOJOクラスとMAX Lights Juniorクラスは混走となります。

※ インレットサイレンサー

1） CIK/FIA 公認（登録）の吸気消音器（改造禁止）を付けることが義務付けられています。吸入口直径は各インレットサイレンサーの CIK 公認書等に表記される。
CIK/FIA 公認の23㎜もダクトを2本備えた吸気消音器となります。
ただし、CIK/FIA公認期限が満了した後、さらに2年間は使用可能となります。

2） SL 認定クラスは YAMAHA 純正吸気消音機を必備となります。
部品番号：7YA－14410－01（エアークリーナーアッセンブリー）

※ ボディワーク

「JAF 国内カート競技車両規則」第 2 章 第 7 条及び第 9 条に従った CIK/FIA 公認サイドボックス・フロントフェアリング・フロントパネル・リアプロテクションは、ステー等の公認部品を含み必備となります。なお異なる銘柄又はモデルの構成部品による3つのボディワークによる組み合わせが認められます。 ただし2つのサイドボックスは、セットで共に使用してください。

1） サイドボックスはシャーシーに最小 2 カ所で強固に固定されなければなりません。その取り付け方法は、「JAF 国内カート競技車両規則」に従ってください。

2) SL APG シリーズ の APG KT を除く全てのクラスの車両は、CIK/FIA 公認 フロントフェアリング取り付けキットの使用が義務付けられています。

3) リアプロテクターの取り付け方については「JAF 国内カート競技車両規則」第 7 条によるものとします。

※ ブレーキ

1) 全クラスにおいて、ブレーキペダルからマスターシリンダーには有効な補助ワイヤー等を取り付ける事を必備とします。

2) ブレーキダクトの装着はシャーシーのブレーキ側のみとし、ダクトに使用できる材質は柔軟で割れにくいプラスティック素材、又はアルミ製で方向が変えられるジャバラ状の筒であることします。それ以外については技術委員長の判断となります。

※ エンジン

「JAF 国内カート競技車両規則」第 1 章及び第 3 章の規定に基づき CIK/FIA（FMK）又は JAF によって公認された単気筒の 2 サイクルエンジン 及び 4 サイクルエンジンとリブレ車両で、いかなる方式であっても全てのパワーバルブは禁止されます。（車両規則書に準ずること。）

※ ラジエター

1)「JAF 国内カート競技車両規則」第 2 章 第 20 条 3 項に準ずる。温度を調整する為にラジエターにテープを貼ることは認められますが、走行中に取り外すことは禁止とし、テープは 1 周以上巻いた物を有効とします。なおシャッターカバーの取り付けは認めるが、危険な構造であってはならず、頑固に固定されていなければなりません。

2)冷却水は水のみとし、不凍液やそれ相当の液体の使用は禁止します。

※ ホイール

「JAF 国内カート競技車両規則」第 2 章 第 26 条 2 項（ビートの固定）に基づき、全てのカート競技では、ホイールはリムの外側に 3 本以上のペグで固定した何らかの形のビートを備えることが推奨されます。

※ シートストッパーワッシャー（リーンホースプレート）

「JAF 国内カート競技車両規則」第 2 章 第 1 条に基づき、全てのシートはシャーシーの主柱との取り付け点に、金属やナイロン製の補強材の備え付けを必備とします。

※ 燃料

1) ガソリン

・「JAF 国内カート競技車両規則」2 章 第 25 条に従った通常ガソリンスタンドのポンプから販売されている無鉛ガソリンを使用しなければなりません。

・オーガナイザーはガソリンの銘柄及び供給方法等を指定する場合があります。

2) エンジンオイル

・SLO 認定クラスは CIK 公認オイルまたは SLO 認定オイル以外の使用は認めないものとします。

・通常市販されている物のみとし、それ以外の添加物の使用は一切、認められません。

・オーガナイザーは、エンジンオイルの銘柄及び供給方法等を指定する場合があります。

・ROTAX MAX 全クラスにおいて使用されるエンジンオイルは XPS-DYE（CIA 公認番号 119295/02), XPS-SYNMAX オイル(CIK 公認番号 114337-02), Xeramic Synmax Full Synthetic 2T（CIK 公認番号 119388/02）とします。

＊ガソリン及びエンジンオイルについては予告なしに抜き打ち検査（タンク内の

燃料を採取する等）を行う場合があります。この場合エントラントは必ずその指示に従わなければなりません。

＊疑わしいものは検査の対象となり、不正が認められた場合、検査料は本人負担となります。また当該ドライバーに対し、獲得ポイントは剥奪され6カ月以上の出場停止のペナルティが課せられます。又エントラントに対しても同等となります。

※ プラグ

SL 規定

スパークプラグは加工禁止とし、市販状態となります。シリンダーヘッド燃焼部分の上部よりプラグのネジ部分が出ていることは認められません。（座金を取り外したものは改造とみなし失格となります。）

MAX 規定

ROTAX MAX Challenge Technical Regulations に準じんす。

※ キャッチタンク

走行中に燃料タンクから燃料漏れを防止するために有効な装置を必備とします。ただし燃料漏れ防止装置がタンクキャップ等に装備されていることが仕様書等によって証明された場合は、それを有効な装置とみなします。

※ 発信器

1）データロガー用発信器は、指定された場所以外への設置は認められません。設置場所については、最終コーナー側からコントロールタワー前までのピットフラットコンクリートウォール上とし、これ以外に設置した場合は主催者によって全て撤去されます。

2）テレメタリーシステムは禁止とします。

※ 車載カメラ

車載カメラの取り付けについては、公式車検時にカメラ搭載許可書を提出し、取り付け状態を車検委員に確認して頂いてください。

車載カメラの取り付けについては必備部品扱いとなります。取り外す場合も車検長に申告してください。

身体やヘルメット等にカメラを取り付ける事は、禁止と致します。

尚、レースの結果に対する抗議については、車載カメラの映像は採用されないものとします。

第 18 条　公式車検

・「JAF 国内カート競技規則・付則、カート競技会参加に関する規定」第 3 章 第 12 条に基づき車両検査が行われます。

・車両検査の日時及び場所はプログラムまたは公式通知によって告知します。

・ドライバーは車両検査に立ち会わなければなりません。その際装備に関しても「JAF 国内カート競技規則 競技会参加に関する規定」第 3 章 第 11 条を適用します。又、車両検査時において技術委員の検査を受けてください。

・公式車検時、本大会に使用するタイヤ（ドライ）を持参しマーキングを受けてください。

・マーキング無きタイヤの使用は禁止とします。（天候によってマーキングするタイヤの種類が変わる場合があります。その際は場内放送にて連絡します。）

※RMC APG SERIES は、公式車検時の際のドライタイヤは新品のみとします。（Lights クラスは除きます。）

・規則に不適合な部分がありながらも、技術委員に発見されなかったとしても、承認を意味するものではなく、レース中にそれに関する疑問が生じた場合は旗の指示を受ける場合があります。

・レーシングスーツは皮製または CIK/FIA(FMK)公認 又は JAF 公認のものを推奨します。(制限付き及び準国内格式クラスについては CIK/FIA 及び JAF 公認のものに限ります。)
・「JAF 国内カート競技規則 競技会運営に関する規定」第 8 章 第 30・31 条に基づき、計量ならびに再車検が行われます。
・各ヒート終了時には「JAF 国内カート競技規則」に定める必備の部品が備わっているものとします。

第 19 条 音量規制

・音量規制については「JAF 国内カート競技車両規則」第 2 章 第 23 条に基づくものとし、タイムトライアル時 78dB(A)+3dB(B)を超えるものについては、タイムトライアルのみタイムに下記の時間を加算し、各ヒートへのペナルティは課さないものとします。
・84dB を含み 84dB を超えるドライバーはレース除外されます。

音 量	加算時間
81.5dB 以上 82dB 未満	0.25 秒
82dB 以上 82.5dB 未満	0.5 秒
82.5dB 以上 83dB 未満	1 秒
83dB 以上 83.5dB 未満	2 秒
83.5dB 以上 84dB 未満	4 秒

第 20 条 自動計測機

・該当大会はAPGから配布された自動計測装置を使ってタイム計測を行うこととします。
・自動計測装置の配布は選手受付時に行い、返却についてはレース終了後1時間以内となります。
・参加者は車両検査までに車両に自動計測装置を取り付けなければなりません。
・取り付けを拒否した場合は、当該車両及びドライバーの出走は認められません。
・自動計測装置の取り付け位置は、フレームから伸びるシートステー、ブレーキ側に路面から 20cm 以内に垂直に取り付ける事を義務付けることとします。
・貸し出しが行われた際、理由の如何を問わず、万一破損・紛失した場合は、一個に付き￥50,000(税込)が主催者側より請求されます。

第4章 競技に関する事項

第 21 条 ブリーフィング

・参加全ドライバーはブリーフィングに出席しなければなりません、欠席したドライバーはペナルティの対象となります。(始末書及び罰金)

※進行上の注意

1) 公式練習からタイムトライアル 及び 予選ヒート 及び プレファイナルは「31～32」パドックより入り、ダミーグリッドから出走し、決勝ヒートは本コースから出走します。(台数によってダミーグリッド入口を変更する場合があります。)

2) チェッカーを受けたドライバーは、コース北側「D」ゲートよりコースアウトし、車検場に向かってください。

第22 条　公式練習（全クラス 3分間）

・「JAF 国内カート競技規則・カート競技会運営に関する規定」第 6 章 第 23, 24 条に基づき公式練習を行います。なお主催者より配布された自動計測装置を、公式練習より取り付けて走行する事を義務づけるものとします。

・出走についてはセンサー確認の為、最低限1周以上走行する事を義務付けるものとします。

・ピットアウトし、スタートラインを通過する前にコース上で停止した場合も公式練習に参加したものと認められます。

・公式練習は「31～32」パドックより入り、ダミーグリッド上に整列してください。出走順については特に定めないものとします。

・公式車検時に「APG」を捺印されたタイヤを公式練習から使用してください。（出場クラスによって異なるので、各自確認してください。）

・ダミーグリッドよりエンジン押し掛けが可能な場所はピットレーン出口のレッドラインまでとします。押し掛け中、補助要員がコースに入った場合は、ペナルティの対象となる場合があります。

第 23 条　タイムトライアル（全クラス 4 分間計測）

・全てのクラスにおいて参加ドライバーは、公式通知に記載された時間内にタイムトライアルに参加しなければなりません。タイムトライアルに参加しないドライバーはタイムトライアル失格とし、予選ヒートは最後尾スタートとなります。その対象車両が複数台いる場合は、ゼッケン順に配列されます。

・フルグリッド 34 台を超えたことによって、組分け（2 組以上）があり、一方の組の最速タイムと別の組の最速タイムの差が、 101%を超えたとしても、走行する組が決まっているので、組によってタイム差が出たとしても、シャッフルすることなくレースが進み、予選が終了するまで変更はされません。

【フルグリッド 34 台以上に達し、2 組以上でタイムトライアルを行う場合】

・A、B の組以上でタイムトライアルを行います。組分け及びスタート順はブリーフィングの際、抽選にて決定します。

・仮に 37 台の参加があった場合、A 組が 19 台でタイムトライアルを行い、B 組が 18 台でタイムトライアルを行います。各組の台数は抽選によって変動する。

・時間内であればドライバーは自由にコースインする事ができ、時間内であれば途中で停止した場合も再トライする事ができますが、ピットロードに帰ってきたカートは再出走できず、タイムトライアル終了となり、速やかにパークフェルメに移動し、車検を受けてください。

・計測は日章旗提示後にスタートラインを通過したカートに対して、全てのラップを計測しベストタイムを採用とします。

・記録したベストタイムが同タイムの場合は、当該ドライバーが記録したセカンドタイムを採用します。更に同タイムとなった場合もこれに準じます。（サードラップタイム以降のタイム。）

・タイムトライアルが何らかの理由で中断された場合、残り時間を再開するが、必要に応じて大会審査委員会が再タイムトライアル時間を設定する事ができます。

・出走順については特に定めないものとし、ダミーグリッドより出走するものとします。

※公式練習とタイムトライアルを連動して行うため、公式練習終了時点でメインポストから日章旗が提示されタイムトライアルが開始となります。
公式練習終了 1 分前になりましたら、計測システムの切り替えのため　一旦計測を停止し、タイムトライアル開始と共に計測を開始いたします。

第 24 条　レース方式

・競技はタイムトライアル・予選ヒート1・予選ヒート2・決勝ヒートの結果により最終順位を決定します。

※予選ヒート 2 はクラスによって異なります、確認してください。

第 25 条　予選ヒート方式

【予選ヒートのグリッド決定方式】

・予選ヒート1：タイムトライアルの成績順となります。

・予選ヒート2：予選ヒート1のベストタイム順となります。

・予選ヒートが 2 回あるクラスはポイント制となります。

※予選ヒート1でペナルティを受けた選手は、次の通り予選ヒート2のグリット順に反映されます。
（タイム加算ペナルティ、グリットダウンペナルティを受けた選手に対してベストタイム順のグリットから、一番多い組の台数順位＋　一律3グリットダウンと致します。

順位	1位	2位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
得点	1点	2点	3 点	4 点	5 点	6 点	7 点	8 点	9 点	10 点
順位	11 位	12 位	13 位	14 位	15 位	16 位	17 位	18 位	19 位	20 位
得点	11 点	12 点	13 点	14 点	15 点	16 点	17 点	18 点	19 点	20 点

以降も着順＝ポイント点数とし、失格の場合は最下位の順位＋3ポイントとする。

※上記のポイントは、予選ヒートのみとし、決勝ヒートのポイントとは合算しないものとします。

また、合算ポイントが同一の場合は予選 1 ヒートの結果順位を優先基準とします。

・予選ヒート1回のみの場合・・・・・タイムトライアルの成績順とします。

【予選ヒートの回数及び周回数】

※　SL　APG　SERIES

予選ヒート1/予選ヒート2　各8周	予選ヒート（1回のみ）　10周
YAMAHAカデットオープン	CADETS FRESHMAN
YAMAHAスーパーSS	APG KT
YAMAHA SS	IAME REED JET
APG X30	TILLOTSON

※　CADETS FRESHMAN / APG KT / IAME REED JET / TILLOTSON 4st / IAME SUPER REED は予選を1回のみとなります。

※ RMC APG SERIES

予選ヒート1/予選ヒート2 各8周	予選ヒート（1回のみ） 12周
Micro MAX	MAX Lights KYOJO/ Lights Junior
Mini MAX	MAX Masters
Junior MAX	
Senior MAX	
MAX Lights 2025,11,17 変更	

※ MAX Lights KYOJO / MAX Lights Junior / MAX Masters / は予選を1回のとします。

【フルグリッドを超えない場合】

・予選ヒートのグリッドはタイムトライアルで記録した成績によって決定されます。

【フルグリッド 34 台以上の場合】

・参加台数が 34 台以上で、予選ヒートを A 組 B 組のクラス分けで行い、セカンドチャンスヒート方式を採用した場合は、各組の予選通過者の順位によって決定されます。

1）先行 A 組のタイムトライアル成績によって、予選を実施します。
2）後攻 B 組のタイムトライアル成績によって、予選を実施します。
3）両方の組の上位 14 台が予選通過となります。

・この方式では、組によってタイム差が出たとしても、シャッフルすることなくレースが進み予選ヒート2が終わるまで変更する事はありません。

【グリッドの決定】

・次ヒートのグリッドは総合最速タイムを出した組をイン側とし、予選ヒート1・予選ヒート2・セカンドチャンスヒート・決勝ヒート等を行うものとします。

例）最速タイムを出した組をイン側グリッドとし、予選ヒート1/2や決勝を行う。

セカンドチャンスを勝ち上がったドライバーが、29 番手から並ぶ。

・天候・日没時間等により変更する事があります。（公式通知にて発表。）
・予選ヒートは「31～32」パドックより入り、ダミーグリットに整列し出走します。

第 26 条 セカンドチャンスヒート

・各組で予選を通過できなかった選手はセカンドチャンスヒートに進みます。
・セカンドチャンスヒートのグリッド順はタイムトライアルで総合最速タイムを出したグループをイン側とします。
・セカンドチャンスヒートの上位 6 台が決勝ヒートに進みます。それ以外の選手は予選落ちとなります。決勝ヒートのグリッドは上位順から 29 位以降の後方の位置に付けるものとします。
・セカンドチャンスヒートの周回数は 7 周もしくは 10 分間以内とします。

第 27 条 決勝ヒート

・決勝ヒートのグリッドポジションは、予選ヒートが 2 回あるクラスは予選ヒート1と予選ヒート2のポイントを合算し、合計ポイントの少ない順となります。
予選ヒートが 1 回のクラスは着順によって決定します。又、セカンドチャンスヒートで決勝出場を得た者は、当該ヒートの順位に従い後方の位置を占めるものとします。
・予選ヒートで組分けがあった場合、予選ヒート及びセカンドチャンスヒートを通過した選手のみ決勝ヒートに出場することができます。
・天候・日没時間等により変更する場合もあります。（公式通知にて発表）
・決勝ヒートは「31～32」パドックより入り、本コース上に整列し出走します。
・決勝ヒートの周回数は下記の通りとします。

【 SL APG SERIES 】

周回数 14周	周回数 16周	周回数 18周
YAMAHA カデット オープン	YAMAHA スーパー SS	YAMAHA SS
CADETS FRESHMAN	APG X30	
APG KT		
IAME REED JET		
TILLOTSON 4st		

【 RMC APG SERIES 】

周回数 14周	周回数 16周	周回数 18周
Micro MAX	MAX Ligths	Junior MAX
Mini MAX	MAX Ligths KYOJO / MAX Lights Junior	Senior MAX
	MAX Masters	

※決勝ヒートの周回数は天候不順によって変更される場合があります。

第28 条 スタート

・スタートは「JAF 国内カート競技規則カート競技運営に関する規定」第 7 章 第 28 条 2 項に基づきローリングスタートが採用されます。
・スタートの合図はシグナル（信号機）によって行われます。

・スタートが合図される前にフォーメンションラップを行います。
（フォーメーションラップ周回数はブリーフィングの際に伝達します。）
フォーメーションラップ中のドライバーは 2 列の隊列で低速走行し、
スタートラインへ向かいます。スタートライン手前に引かれたイエローラインを越えるまでは加速してはなりません。

・ハイスピードコース及びテクニカルコース共に第1コーナーより通常通り走行し、最終コーナーを抜けスタートラインに向かいます。

・カートがスタートラインに接近する段階で赤信号を点灯提示し、スタート前の最終な隊列を形成させる為、イエローライン手前中央に 2本の白線（誘導線）を引き、線を踏まないように 2列に左右に分かれてスタートラインに向かうものとします。

・スタートが合図される前の車線変更は禁止とし、2本の白線（誘導線）を踏む、または跨ぐ行為はペナルティの対象となります。

・競技長はフォーメーションラップが整い、イエローライン手前で加速していないと判断し、尚且つPP（ポールポジション）のものがイエローランを過ぎ、スタートラインまでの25mの間で一番最初に加速をしたと競技長が判断した場合、赤信号を消灯してスタートの合図を行います。フォーメーションラップ中、イエローライン手前で加速に問題があった場合、ミススタート旗がセンターポストと 3 コーナー手前ポストで提示され競技長はフォーメーションラップを更に1周行われることを合図する為、赤信号を点灯し続けます。なおドライバーは隊列が乱れた場合は、元のローリング時のポジションに戻ってください。

※隊列復帰禁止区間

1) ハイスピードコース：8 コーナー手前の両側に配置された、パイロン（オレンジライン）からスタートラインまでは隊列復帰禁止区間とします。
2) テクニカルコース：7 コーナー手前に両側に配置されたパイロン（オレンジライン）からスタートラインまでは隊列復帰禁止区間とします。これを違反した者はペナルティの対象となります。

・フォーメーションラップ中に隊列を乱す者がいた場合は、白黒旗が提示されます。フロントローがこれを繰り返した場合、赤旗でフォーメーションラップを中断し、違反したドライバーは最後尾スタートとし、再スタートとなります。

・フォーメーションラップ中、隊列から遅れた者が隊列の前に出て待つような行為をした場合、ペナルティの対象となります。

・フォーメーションラップ中に隊列から大きく遅れを取った者や、ピットインした者、ヒーティングをし、他の者の走行を妨害した者には競技長より指示（白下地に×ボード）された者は最後尾に付かなければなりません。ミススタートとなった場合も解除されないものとします。

（※最後尾とは：出走台数が 20 台の場合 21 番グリッドに着くものとします。）

・フォーメーションラップ中にコースをショートカットする事は禁止となります。

・フォーメーションラップ中にポールまたはセカンドのカートが停止、又は遅れても
ローリングは続行されます。その際は先頭にいる者にローリングのペースを保つ
義務が生じます。
・ヒートスタート後、ピットロードに残留し、スタートをしていないカートは、そのヒートを
出走する事はできません。
・フォーメーションラップ中の白黒旗と、ヒート中の白黒旗は合算しません。

・審査委員会は不正スタートしたドライバーに対してペナルティを課すことが、できます。

第 29 条　レース中断
・「JAF 国内カート競技規則 カート競技運営に関する規定」第 9 章 第 35 条
「レース中断」に従うこととします。
・赤旗提示の場合ドライバーは直ちにレースを中断し、オフィシャルの指示従い、
いつでも停止できる体制で、1 コーナー手前で徐行して停止してください。
その場合センターを開けて危険回避に務めてください。
・レース中断の結果は下記の通りとなります。
1）レースが 60%以上終了した場合、レースは成立したものとみなされ、赤旗
提示前の周回時点の終了順序で結果が決定されます。
2）60%以下の場合、レースは完全に再走行となり、第 1 回目のスタートは
無効、取消となります。
a） 予選及び敗者復活戦では、最初に参加していた全てのドライバーが
再スタートに参加する権利を与えられます。
b） 決勝では、中断する前の周にフィニッシュラインを超えたドライバー
だけが再スタートに参加できます。
・赤旗提示の場合、競技長の指示があるまでメカニックはグリッド上への介入
および車両整備を行ってはいけません。
・グリッド上での作業はプラグ交換のみとし、燃料補給およびケミカル類の
使用は禁止となります。

第 30 条　イエローコーション（ニュートラリゼーション）
・競技中、赤旗までは至らないと判断せれた場合にイエローコーション
（ニュートラリゼーション）が発動されます。詳細については後記参照。

第 31 条　イエローフラッグからグリーンフラッグ制導入の実施
・イエローフラッグからの減速、追い越し禁止区間を、イエローフラッグから
対象車両ではなく、次のポストで提示するグリーンフラッグまでとする運用を
実施します。
・各ドライバーはグリーンフラッグ先から、スピードアップや追い越しができるもの
となります。
・これまで通り、コース上やコース脇で停止車両や事故が発生している場合、
その手前のポストでイエローフラッグが振られる。この運用では、
イエローフラッグから対象車両までが、追い越し禁止区間ではなく、
グリーンフラッグを超えるまでが、減速・追い越し禁止区間となります。
・グリーンフラッグの対応が遅れた場合はイエローフラッグが振られているポストから
次のポストまでが追い越し禁止区間となります。
※軽度なスピン程度の場合、グリーンフラッグを出す前に対象エリアが解除に

なる場合があります。

第 32 条　レースの終了及び順位の決定

・レース順位 1 位の者がフィニッシュラインを通過後 2 分以内にカートが自力で同ラインを通過した者はそのラップが加算されます。完走者となる為には規定周回数の 1/2 以上を完了していなければなりません。

・レース順位は下記の順序により周回数の多い順に決定されます。

1) チェッカーを受けた完走者（規定周回数の 1/2 以上を完了しチェッカーを受けた者。）

2) チェッカーを受けない完走者（規定周回数の 1/2 は周回したがチェッカーを受けなかった者）

1. 完走者（チェッカーを受けたドライバー）
2. 未完走者（チェッカーを受けていないドライバー/DNF）
3. 未出走者（DNS）
4. 失格者

3) 同一周回数の場合はその周回数を先に完走（コントロールラインを通過）したものを優先とします。

第33 条　車両保管及び再車検

・「カート競技会運営に関する規定」第 8 章 第 30、31、32 条に基づきレース終了後、「D」ゲート奥に特設された車検場にて再車検が行われます。

・技術委員長はスタートした全ての車両に対して検査を行う権限を持ち、検査を受けない者は失格となります。

・車両保管の時間は各クラス決勝ヒート終了後 30 分以上とし、所定の場所で行われます。

・技術委員長より検査の指示があった場合、エントラントもしくは登録されたメカニックが責任を持って車両の分解及び組み立てを、行わなければなりません。ただし関係役員、エントラント及びドライバー以外は検査に立ち会うことはできません。

・車両保管終了後、エントラントは車両を速やかに引き上げなければなりません。

・以上の項目に対する違反は競技長によって勧告され大会審査委員会によりペナルティが課せられる場合があります。

第 34 条　その他、競技に関する事項

・信号機は「カート競技会運営に関する規定」第 3 章に従うものとします。

・停止車両がドライバー自身によって、再スタートならびに車両移動が出来ないと判断された場合、オフィシャルの手によって安全な場所に車両を移動する場合がある。この場合通常はレース終了となります。また危険地帯での停止・多重クラッシュによる車両の重なり等をオフィシャルが手を貸し救済補助する場合があります。その後レースに復帰できるかどうかは競技長の判断によるものとします。

必ずしも、オフィシャルが手を貸したからといって、リタイヤを意味するものではなく、安全第一を考慮したうえで競技運営に協力 及び ご理解のほど宜しくお願い致します。

・レース中はコースを外れショートカットすることは認められず、当該行為は
ショートカットとみなされペナルティの対象となります。
・競技中リタイヤしたドライバーは、自分の車両を速やかに安全な位置に移動し、
そのヒートが終了するまでは「カート競技会運営に関する規定」第 3 章
第 11 条に規定される装備一式を着用していなければなりません。
・コースアウトに対するペナルティは競技長の判断に委ねるものとします。
・オフィシャルが反則又は妨害行為と判断したものについては、ペナルティが
課せられる。更にその行為が 2 回以上におよぶ場合は失格となります。
・ドライバーのサインは以下の通りとし、これを怠った者はペナルティが
課せられる場合があります。
1）ピットイン・ピットアウトのサインは片手を高く上げる。
2）スローダウンするドライバーは片手を高く上げる。
3）コース上で停止した場合のサインは、両手又は、片手を頭より高く上げる。
4）フォーメーションラップ中、コース委員長の指示により更にもう 1 周追加
された場合のサインは、片手を頭より高く上げ、後続車両に教える事とする。
5）ミススタート旗が提示された場合のサインは、片手を高く上げ、スピードダ
ウンをし、元のローリングスタート時のポジションに戻ってください。
・工具を用いた修理等は、指定されたエリア（ピットおよびパドック）以外は一切
禁止とします。
・エンジンの暖気については、指定されたエリア以外では一切禁止とされ、違反
した者はペナルティを受ける場合があります。ただしエンジンが始動するかの
確認程度の作業は除外されます。
・消火器の携帯については各エントラント及びドライバーは、下記に示す消火器
を 1 本以上備える事を推奨します。なおパドック及びピットは火気厳禁に努め
るものとします。
※種 類 ： ABC 粉末タイプ
※大きさ ： 4 型（内容量 1.2Kg）以上
・コース内での外部スターターの使用は禁止となります。（スタートの際使用する
場合は、作業エリアに移動し使用してください。ただしグリットは最後尾となりま
す。）
・ダミーグリッド及び本コース整列後は、工具を使ったメカニック作業は禁止され、
部品の交換、給油、ケミカル用品の使用等は禁止となります。ただし、タイヤの
空気圧を調整するためエアーゲージを使用し、エアーを抜く行為は認められま
す。
・熱中症対策として、ダミーグリッと及びパルクフェルメへの 600 ㎖までのペットボ
トルの持ち込みを許可します。なお 飲料以外の使用は禁止とします。（浴びる
行為は禁止となります。）
・エンジンの暖気場所はダミーグリッド又は本コース上にて、各ヒート開始前に
一定時間設けるものとし、それ以外の場所での暖気は禁止します。
・決勝ヒートにおいてタイム差が著しい場合、青地・赤×印のフラッグを使用する
場合があります。

第 5 章　ピットに関する事項

第 35 条　ピット要員

・「カート競技会参加に関する規定」第 3 章 第 18 条 に基づきピット要員の行為に関する最終的な責任は、エントラントに帰属するが、レース中における場合はドライバーに直接統轄の責任があるものとなります。

・ピット要員は大会事務局により指定されたクレデンシャルを着用しなければならず、ピット要員による規則の違反は当該ドライバーに対して黒旗を指示する場合もあります。

・ピット要員は全て16歳以上とし、ドライバー1 名につき 2 名まで登録が可能とします。またピット要員が未成年の場合、親権者の承諾書の提出を義務付け、該当定員 1 名までとなります。

第 36 条　ピットイン・ピットアウト

・ピットインする場合はピットロードを徐行しなければならず、かつ必ずピットストップし、エンジンを停止しなければならなりません。

・ピットレーンから出走する際は、エンジン押しがけ可能な場所は、ピットレーン出口のレッドラインまでとし、本コースから出走する際は、1コーナー手前のコンクリートウォール先端までとなります。

補助要員が指定区間を越した場合は、ペナルティを受ける場合があります。

第 37 条　ピット作業エリア

・ピット作業エリアは事務所横「B」ゲートから「29～30」のパドック前のピットロードとなります。

・ピット内においてエンジンをかける事は一切禁止となります。

・ピット内は火気厳禁となります。

・燃料の容器は 20ℓ 以内の消防法に適応した金属製の携帯缶でなければならない物とします。

第 6 章　ペナルティに関する事項

第 38 条　ペナルティ

・ペナルティは次の 6 種類があり、適用については APG 特別規則書ならびに APG ペナルティ表に基づくものとします。

※1、警　告：その必要ありと認めた軽反則に対して発せられます。

※2、罰　金：成績に対するペナルティまでに至らない程度の違反に適用されます。

※3、タイムペナルティ：失格に至らない違反に適用されます。

※4、ポイントペナルティ：失格に至らない違反に対し予選ヒート及び決勝ヒートに適用されます。

※5、ラップペナルティ：失格に至らない違反に適用されます。

※6、失　格：下記の反則行為に対して適用されます。

1）規則に反して、又は不当に得たアドバンテージ。
2）故意に自己又は他人の安全を省みない危険行為。
3）与えられたオフィシャルの指示を故意に無視した場合。
4）与えられたフラッグサインを無視した場合。

・レース中の反則行為は、ドライバーを停止させることなくペナルティを課す場合があります。
・大会期間中の違反に対するペナルティは、競技長が大会審査委員会に諮って同委員によって決定されます。
・大会審査委員会は状況に応じてペナルティを軽減したり強化したりすることができます。
・決勝ヒートにおいて悪質な反則行為があった場合は、次戦にペナルティをかせる場合があります。

※ペナルティの例

1) エントリーの遅れ：延滞賠償（事務局手数料）
2) 当日受付確認の遅れ（ただしオーガナイザーが認めた場合、公式練習まで）
：延滞賠償（事務局手数料）
3) 車検の遅れ（オーガナイザーが認めた場合、ただし公式練習まで）
：延滞賠償（事務局手数料）
4) ドライバーズブリーフィングの欠席又は遅刻の場合：罰金又は罰則
5) 重量違反：当該タイムトライアル及び当該ヒート失格
6) 燃料違反：レース失格
7) 服装違反（車検時に判明した場合）
：警告（競技中に発見した場合）
：当該ヒートの結果に 5 秒加算、悪質な場合はヒート失格
（疑わしい場合もオレンジディスクの旗の指示を受ける場合があります。）
8) 公式練習に参加しなかった場合：レース失格
9) エンジン始動、作業違反：警告又は相互の罰則
10)フォーメーションラップ中の指定区間での追い越し、及び割り込み違反
：当該ヒート失格
11)フォーメーションラップ中に隊列を乱した場合（警告旗の後）
：当該ヒートの結果に3秒～10秒加算、又は1～10ポジションダウン
同行為をフロントローが繰り返した場合は最後尾となります。
12)スタート時のフライング（警告旗の後）
：当該ヒートの結果に3秒～10秒加算、又は1～10ポジションダウン
13) プッシング・極度のブロッキング（警告旗の後）
：当該ヒートの結果に3秒～10秒加算、又は1～10ポジションダウン
同行為が著しい場合、当該ヒート失格。
14) ショートカットとなるコースアウト
：当該ヒートの結果に3秒～10秒加算、又は1～10ポジションダウン
悪質な場合、当該ヒート失格
15) 黄旗時の追い抜き
（公式練習・タイムトライアル）：タイムトライアルの結果に0．25秒～1秒加またはベストタイム抹消
（予選ヒート・SC・決勝ヒート）：当該ヒートの結果に3秒～10秒加算、又は1～10ポジションダウン
16) 黒旗の無視：レース失格
17) オレンジディスクのある黒旗無視：当該ヒート失格
18) レース中のコース内での他者への援助（メカニックも含む）
（公式練習）：タイムトライアルの結果に2秒加算
（タイムトライアル・予選ヒート・SC・決勝ヒート）：当該ヒート失格

19) 各ヒート終了時に「JAF 国内カート競技車両規則」に定める
必備の部品が欠落していた場合（後方のナンバープレートを除く）
：当該ヒート失格

20) 工具携帯走行：レース失格

21) ピットロード徐行違反：警告、同行為を繰り返した場合：当該ヒート失格

22) 指定エリア（ピット・パドック）以外で作業をした場合：警告
同行為を繰り返した場合：当該ヒート失格

23) ピット要員のオフィシャル指示に対する違反：警告
暴力行為／暴言があった場合：当該ドライバーのレース失格

24) コース上に停止しコース委員の指示に従わなかった場合、又は後続車両通前に再スタートした場合：警告　同行為により他の事故を誘発した場合：
当該ヒートの結果に3秒～10秒加算、又は失格

25) 公式練習およびタイムトライアルを除き、チェッカー後フィニッシュラインを通過したカートのフロントフェアリングが正しい装着状態でなかった場合
：当該ヒートの結果に 5 秒加算

※1MAX クラスにおいてはタイムトライアル・予選・SC・決勝ヒートに採用されます。
※2 タイムトライアル中の違反に関してはベストタイム成績の抹消をする場合がある。

26) フロントフェアリング装着に関する不正行為：レース失格

27) 四輪脱輪走行（トラックリミット）違反
（タイムトライアル）：ベストタイム抹消（繰返す場合は 2nd～3rd Time を抹消）
（予選ヒート・PF・決勝ヒート）：1 回目ボードで警告
2 回目以降、 四輪脱輪走行によりアドバンテージを得た場合3秒～10秒加算。又は1～10ポジションダウンとする。
悪質だと判断した場合、当該ヒート失格とする

28)エントラント及びメカニックの違反：罰金制とする

上記を含み、その他のペナルティについては特別規則書又並び APG ペナルティ表を参照し公式通知等にて、通知もしくは競技長によって勧告され、審査委員会により課せられます。

第 7 章　抗議に関する事項

第 39 条　抗議の提出

・「JAF 国内カート競技規則」第 13 章 第 40 条に基づき書面をもって抗議料を添付の上、正式に登録されたエントラントより競技長に提出するものとします。
・「国内競技規則」10-20 に従ってなされた審判員の判定、計時装置及び音量測定装置により課せられたタイムペナルティに対する抗議は認められません。
・提出された抗議により再車検等を実施し、その抗議が成立した場合には再車検等に要した費用、ならびに組み立て費用は被抗議者であるエントラント及びドライバーの負担とし、これと反対に当該車両等が規則通りのものであることが判明した場合は、抗議提出者がそれらの費用を負担しなければならず、費用の算定については技術委員長に委ねられるものとする。

第 40 条　抗議提出の制限時間及び抗議料

・技術委員又は車両検査委員の決定に対する抗議は、決定直後とします。
・競技中の過失又は反則に対する抗議はその競技終了後 30 分以内とします。
・競技の成績に関する抗議は、暫定結果終了後 30 分以内とします。
・抗議料は、準国内格式以下は￥22,000（税込）となります。

第 8 章　成績及び章典に関する事項

第 41 条　成績の決定及び賞典

・決勝ヒートの結果により決定されます。
・賞典はドライバーに対して行われます。
・内容は下記のように定めるものとする。
※優勝～第 3 位:トロフィー / 副賞
※第 4 位～第 6 位:副賞（参加台数によって、変更する場合があります。）
※また賞典の対象は、決勝ヒートにおいて完走（完走扱いも含む）したドライバーに限ります。
・ポイントは下記の通りとする。21 位以降は 0 ポイントとする。

順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
得点	25 点	22 点	20 点	18 点	16 点	15 点	14 点	13 点	12 点	11 点
順位	11 位	12 位	13 位	14 位	15 位	16 位	17 位	18 位	19 位	20 位
得点	10 点	9 点	8 点	7 点	6 点	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点

第 42 条　得点基準

・シリーズ戦、獲得ポイントは上記に示すものを適用します。
・本大会のドライバーに与えられる得点は、決勝ヒートのチェッカーを受けた完走者のみとし、未完走者、不完走者、不出走者及び失格者には与えられないものとします。
・最終戦のポイントは 1.25 倍のポイントが与えられます。

【SL APG SERIES】
・YAMAHA カデット オープン/ YAMAHA SS / YAMAHA スーパーSS / APG X30 / IAME REED JET / TILLOTSON 4st /

【RMC APG SERIES】
・Micro MAX / Mini MAX / MAX Lights / MAX Lights KYOJO / MAX Lights Junior / MAX Masters / Junior MAX / Senior MAX

※SL APG シリーズ全6戦中、5 戦有効ポイント

※RMC APG シリーズ全5戦中、4戦有効ポイント
（最小ポイントは除くものとする。）

第 43 条　本大会年間優勝者の認定

・「日本カート選手権規定」第 1 章 第 7 条に基づき、シリーズ戦の合計ポイントが最も多い者を年間優勝者とします。

・複数のドライバーが同ポイントの場合、各ドライバーが得た上位入賞回数が多い順。(1 位の数、2 位の数、3 位の数、以下これに準ずる。)に決定されます。なお、順位も入賞回数も同一の場合は、最終戦の決勝ヒートの順位において上位順位を得た者を上位とします。

第 9 章 広告に関する事項

第 44 条 広　告

・ナンバープレートに広告を表示する事は認めません。その他の広告について、オーガナイザーは次のものに関して抹消する権限を有し、かつドライバーはこれを拒否することができないものとします。

※公序良俗に反するもの。
※政治・宗教に関連するもの。
※本大会と関連するスポンサーと競合するもの。

第 45 条 肖像権について

主催者およびこれらの指定した第三者は、参加者の写真とその他の肖像、参加車両の写真、デジタル画像、音声、映像等を Web-site、報道、放送、出版等に用いることができるものとします。

第 10 章　その他の事項

第 46 条　エントラント及びドライバーの遵守事項

・エントラントは自己の参加が関わる全ての者に、全ての法規及び規則を遵守させる責任を有します。
・エントラント、ドライバー及びピットクルーは本統一規則書の元で開催される競技中に生じた事態についてコース所有者、大会主催者及び大会役員に対していかなる責任も追及しないものとします。
・エントラント、ドライバー及びピットクルーは競技委員やレースジャッジに対して、スポーツマンらしからぬ行為や不謹慎な言葉遣い、暴言、威圧、あるいは競技を妨害する行為を取った場合、当該競技会失格とします。また、施設から退去して戴く場合があります。
主に選手に対しての暴力／暴言(特に子供へ)、選手間同士の暴力／暴言には目に余るものがありますので、人道的な対応をお願いします。
・主催者や競技委員、選手に対して、SNS 等で誹謗中傷、侮辱をした場合、競技会の参加を取り消す場合や、エントリーを拒否する場合があります。
・エントラント、ドライバー及びピットクルーの肖像権及びその参加車両の、写真、映像など報道要員の放送、出版に関する権限を有し、この権限を第三使用する事を許可する事ができるものとします。

第 47 条　誓約書の署名

・エントラント、ドライバー及びピットクルーは参加申込書に記載された誓約書に、署名・捺印をしなければなりません。

第 48 条　本規則の解釈

・本規則ならびに競技の細則に関する解釈に疑問が生じた場合は、大会審査委員会の決定を最終的なものとみなします。

第 11 章　競技車両規則

第 49 条　クラス別車両規則

・エンジンは「2026 年 JAF 国内カート競技車両規則」に合致するもので、下記の詳細を満たしていなければなりません。

下記で言う改造とは、切断・付加等の改造及び市販状態での装着部分からの変更を言います。

エンジン構造パーツの取り扱い方法、はメーカー出荷時の状態であることとします。

【エンジン変更（交換）について】

・公式練習後にエンジン交換をする場合、技術委員長確認立ち会いのもと、大会審査委員会の承認を得て、別のエンジンに 1 回のみ登録を変更する事が可能です。

※1 選手のエンジン交換は 1 日 1 回のみとする。

・タイムトライアル、予選ヒート、プレファイナル後にエンジン交換が生じた場合、技術委員長立ち会いのもと、大会審査委員会の承認を得て、別のエンジンに 1 回のみ登録を変更する事が可能です。この場合、次ヒートのグリッドは最後尾となります。

・エンジン交換によって、最後尾スタートとなる車両が複数台いる場合は、次ヒートのスタートグリッドはエンジン交換申告書の提出順に配列されます。

・必ず、**事務手数料￥2,200（税込）**を事務局に支払い、エンジン追加登録の手続きを事務局に行ってください。

・エンジン変更（交換）申請は、各ヒートのスタート 20 分前までとします。

第 50 条　Micro MAX クラス

・格　　式　　：クローズド

・出場資格　　：小学1年生～中学 1 年生（当該年度）／ コースライセンス以上 or SL-カデット or SL-B or JAF 国内 JrB

・エンジン　　：ROTAX 125Micro MAX EVO とし、一切の変更・改造は禁止され、市販状態とする。補記類も純正品とし、変更・改造は禁止され取り付けもメーカー指定通りとなります。

・Micro EVO 規定：EVO 黒色クランクケース（パーツ番号 295915）
新型シリンダー（パーツ番号 223991/刻印番号 22394
Micro EVO マフラーASSY2020（パーツ番号 273136）
キャブレターインナーリストリクター（パーツ番号 267536）
EVO 電装関係
上記組み合わせとなります。

・最小メインジェット：＃105 とする。

・ディスタンスプレート（純正品 No281551）が必備となります。

・シリンダーとリードブロックの密着性が不完全の場合、ガスケット（純正品 No250523）を2枚使用することが認められます。
・スキッシュエリア数値：左右平均値　2.40～
・チャンバー本体とエキゾーストソケット部分を止めるステンレススプリング（純正品 No938798）の取り付け本数を片側 2 本、両側合計 4 本とします。
・ドライホイールサイズ
：フロント 130mm 幅以下/リア 150mm 幅以下（公差+2mm）
・ウェットホイールサイズ
：フロント 130mm 幅以下/リア 150mm 幅以下（公差+2mm）
・ギア指定　：天候に関わらず下記のギア数に固定すること。
フロント　15　丁　/　リア　73　丁
※メインジェットについては#105 番以上とする。
・最低重量　：105　kg（サブシートステー取り付け禁止とする。）
・タイヤ　：ドライ　MOJO　C2
ウェット MOJO　W5→CW（2026.1.1 変更）

※詳細は Global ROTAX Max Challenge Technical Regulations 2026
（以下 ROTAX テクニカルレギュレーション 2026）Micro MAX と
2026 RMC APG　特別規則書に準じます。

第 51 条　Mini MAX
・格　　式：クローズド
・出場資格：小学3年生～中学2年生（当該年度）/ SL カデット　or SL-B or JAF 国内 JrB
・エンジン　：ROTAX 125 Mini MAX EVO とし、一切の変更・改造は禁止とされ、市販状態とする。補記類も純正品とし変更・改造は禁止とされ取り付けもメーカー指定通りとなります。
・Mini EVO 規定：EVO 黒色クランクケース（パーツ番号 295915）
新型シリンダー（パーツ番号 223991/刻印番号 223994）
Mini EVO マフラーASSY2020（パーツ番号 273137）
キャブレターインナーリストリクター（パーツ番号 267536）
EVO 電装関係
上記組み合わせとなります。
・ディスタンスプレート（純正品 No281551）が必備となります。
・シリンダーとリードブロックの密着性が不完全の場合、ガスケット（純正品 No250523）を2枚使用することが認められます。
・スキッシュエリア数値：左右平均値　1.20～
・チャンバー本体とエキゾーストソケット部分を止めるステンレススプリング（純正品 No938798）の取り付け本数を片側 2 本とし、両側合計 4 本とします。
・ギア指定：天候に関わらず下記のギア数に固定します。
フロント　14丁　/　リア　73丁
・最低重量：115　kg（サブシートステー取り付け禁止とする。）
・タイヤ　：ドライ　MOJO　C2
ウェット MOJO　W5→CW（2026.1.1 変更）
※詳細は ROTAX テクニカルレギュレーション 2026 Mini MAX と
2026 RMC APG　特別規則書に準じます

第 52 条　MAX Lights ／ MAX Lights KYOJO クラス

・格　　式：クローズド

・出場資格：Lights 15 歳以上 ／ コースライセンス以上

：KYOJO 14 歳以上 ／ コースライセンス以上　2015.11. 17 変更

・エンジン仕様規定

MAX Ligths クラスのエンジンは、現行のEVO仕様・旧型仕様とも使用可能ですが、下記の組み合わせのみが認められます。

※EVO仕様・旧型仕様定義について

・EVO仕様：2016 年以降のEVOハーネス＋EVO排気バルブ→クランクケース、シリンダーは旧型でもOKとする。

・旧型仕様：DENSO製 旧型ハーネス＋排圧式排気バルブとする。

・MAX Ligths クラスのエンジン仕様

	EVO仕様	旧型仕様
スキッシュ	1，0 ㎜以上	1，0 ㎜以上
マフラー	Ver2 のみ使用	Ver1/2、インナーチューブ問わず必ず排気ソケットとの組み合わせ厳守
電気系	電気式排気バルブ＋デトルト製電装のみ	旧式排気バルブ＋DENSO製電装のみ
クラッチ	現行型のみ	現行型、旧型問わず
バランスギア	現行型のみ	組み合わせはテクニカルレギュレーションに準ずる
キャブレター	XS型のみ	XS，QS，QD問わず 組み合わせはテクニカルレギュレーションに準ずる
ラジエター	EVO（Ver3・現行のみ）	Ver1～3 問わず
プラグ	ROTAX 純正のみ	ROTAX 純正のみ
燃料フィルター	ROTAX 純正必備・取付位置厳守	ROTAX 純正必備・取付位置厳守

・最低重量：MAX Lights　　160 kg

MAX Lights KYOJO　150 kg

※Lights クラスに出場する選手で 60 歳以上は規定の重量より－5 kg（155 kg）

70 歳以上は規定の重量より－10 kg（150kg）

とします。（誕生日を過ぎる事とします）

・タイヤ：ドライ　MOJO　D1

ウェット　MOJO　W5

・ギア指定：天候に関わらず下記のギア数を固定することとします。

：フロント13丁　リア76丁

・使用するパーツは純正品に限る。変更可能な部品等は、

ROTAX テクニカルレギュレーション 2026 MAX Lights 規定を参照すること

※詳細は ROTAX テクニカルレギュレーション 2026 MAX Lights と 2026 RMC APG 特別規則書に準じます。

第 53 条　MAX Lights Junior クラス

・格　　式：クローズド

・出場資格：１１歳以上 ／ コースライセンス以上

・エンジン仕様規定：ROTAX 125MAX JR（Junior MAX）同仕様とし、一切の変更・改造は禁止とされます。補記類も純正品とし変更・改造は禁止とされ取り付け方法もメーカー指定通りとします。

・マフラー：Mini MAX 用 排気ソケット 22Φ 純正品（部品 273196）を必備とします。

・最低重量：MAX Lights Junior　145 kg

・タイヤ：ドライ　MOJO D1

：ウェット MOJO W5

・ギア指定：天候に関わらず下記のギア数を固定することとします。

：Junior　フロント 13 丁　リア 76 丁

※MAX Lights KYOJO と MAX Lights Junior クラスは混走とします。（章典も同じ）

第 54 条　MAX Masters / Junior MAX / Senior MAX クラス

・クローズド / MAX Masters / Junior MAX / Senior MAX

・出場資格：

Junior MAX / 小学5年生～17 歳（当該年度）/

JAF 国内 JrB 以上 or JAF 国内 B 以上　国際 G ライセンス

Senior MAX / 14 歳～（当該年度）/

JAF 国内 JrB 以上 or JAF 国内 B 以上　国際 E・F ライセンス

MAX Masters / 25 歳～（当該年度）/

JAF 国内 B 以上 or JAF 国内条件付以上 or SL-B 以上

国際 E ライセンス

・エンジン：ROTAX 125MAX（Senior MAX/MAX Masters）

ROTAX 125MAX JR（Junior MAX）とし、一切の変更・改造は禁止とされる。補記類も純正品とし変更・改造は禁止とされ取り付け方法もメーカー指定通りとなります。

・ベースガスケット：使用枚数及びサイズは自由となります。

・スキッシュ：最小値 1.00 ㎜（Senior MAX / MAX Masters）

最小値 1.20 ㎜（Junior MAX）

・インテークサイレンサー：純正品 Version2 の本体を使用となります。

（中のフィルターは ROTAX 純正の、2層構造の緑/オレンジ、2層構造の緑/濃い緑 Twin Air”3 種類のいずれかを使用となります。）

※ただしエアフィルターの加工、改造は禁止されます。

・バッテリー：ROTAX テクニカルレギュレーション 2025 記載の「Ver.1」「Ver.2」「Ver.3」を使用可能となります。

・キャブレター：純正品の」デロルトキャブレターVHSB34XS とし無改造となります。

・マフラー：純正品を使用し、消音装置の消音材のみ交換する以外の改造は認められません。

・ラジエター：純正品とし無改造とします。取り付け位置もメーカー指定通りとなります。

※不凍液（クーラント）の使用は認められません。温度調整の為、ラジエターにテープを貼る場合は、ラジエター本体にテープを 1 周以上回して必ず取れないようにしてください。

・最低重量：Junior MAX　145 kg
Senior MAX　160 kg
MAX Masters　165 kg
※Masters クラスに出場する選手で 60 歳以上は規定の重量より－5 kg（160 kg）
70 歳以上は規定の重量より－10 kg（155 kg）
とします。（誕生日を過ぎる事とします）
・タイヤ：ドライ（Junior MAX / MAX Masters）/ MOJO　D2
（Senior MAX / ）MOJO　D5
ウェット / MOJO　W5

※1 フロントブレーキ及びアクセルに関しては、オーガナイザーが特別許可した場合のみ使用することを認められます。
※2 詳細は ROTAX テクニカルレギュレーション 2026 MAX Masters / Junior MAX / Senior MAX と 2026RMC APG 特別規則書に準じます。

第 55 条　CADET FRESHMAN
・格　　式：クローズド
・参加資格：小学 1 年生以上（当該年度）/ コースライセンス以上
・最低重量：100kg
・サブステー：Micro MAX は取り付け不可、カデット オープンは可とする。
・エンジン：YAMAHA KT100SEC
ROTAX Micro MAX
IAME Gazelle 60cc 検討中
シャーシー 2026 年 YAMAHA カデットオープンクラスに準じます。
2026 年 RMC Technical Regulations に準じます。
・ギア指定：天候に関わらず、下記の示すギア数を使用する事。

KT（カデット）		MAX（Micro）	
フロント	リア	フロント	リア
11 丁	70～73 丁	15 丁	73 丁

・タイヤ　※KT（カデット）：DL 製 ドライ SL-J / ウェット SL-W2
※MAX（Micro）：　MOJO 製 ドライ C2 / ウェット W5
・参加される小学生ドライバーは、ネックガードとリブプロテクターの着用は必備と致します。
※混走しますが、賞典は別とします。

第 56 条　YAMAHA カデット オープン
・格　　式：クローズド
※2025 年度 SL 規定に準じます。
・参加資格：小学 2 年生以上（当該年度）/ SL-カデット及び SL-B
・最低重量：110kg

・エンジン　　：日本国内仕様　YAMAHA　製
KT100SEC　クラッチ・セルスターター付き限定
（一切の改造禁止、市販状態とします。）
・エンジン型式：7YU　型とします。
・キャブレター：WB3A / WB21 / WB33　とします。
（一切の純正部品以外への改造・変更は禁止とします。）
・マニホールド：7YA-13585-00　とします。

・ジョイントキャブレター：黒色 7YU-13586-09 の 14.5φmm（公差±0　mm以下）
テーパージョイント装着となります。
・ジョイントエアクリーナー：7YF-14453-03　を装着となります。
・吸気消音器：YAMAHA　純正吸気消音機を必備となります。
部品番号/7YA-14410-01（エアークリーナーアッセンブリー）
・オイル　：CIK 公認オイルまたは SLO 認定オイルとなります。
・タイヤ　：DUNLOP（DL）製
ドライ　SL-J /　ウェット　SL W2
・ホイール：ドライホイール F130 mm以下・R150 mm以下（公差+1 mm以下）とします。
ウェットホイール F130 mm以下・R180 mm以下（公差+1 mm以下）
とします。
・参加される小学生ドライバーは、ネックガードとリブプロテクターの着用は必備と致します。

第 57 条 YAMAHA SS / YAMAHA スーパー SS クラス
・格　　式：クローズド

・参加資格：　YAMAHA SS(以下 SS)
小学 6 年生以上（当該年度）/ SL-B 以上
YAMAHA スーパーSS(以下スーパーSS)
30 歳以上（当該年）/ SL-B 以上
・最低重量：SS　　145kg
スーパーSS　153kg
・エンジン：YAMAHA　製　日本国内仕様
KT100SEC　クラッチ・セルスターター付き限定
（一切の改造禁止、市販状態とします。）
・エンジン型式：7YU　型のみなります。
・キャブレター：WB3A / WB21 / WB33　となります。
（一切の純正部品以外への改造・変更は禁止となります。）
・マニホールド：7YA-13585-00　となります。
・ジョイントキャブレター
＊黒色：787-13586-01　の　26φmm
（公差±0.5 mm以下）ジョイント装着となります。
・ジョイントエアクリーナー：7YF-14453-03　を装着となります。
・吸気消音器：YAMAHA　純正吸気消音機を必備となります。
部品番号：7YA-14410-01（エアークリーナーアッセンブリ）
・オイル：CIK 公認オイルまたは SLO 認定オイルとなります。
・タイヤ：DUNLOP（DL）製
ドライ SL-22 /　ウェット SL-W2

・ホイールサイズ:ドライ・ウェットホイール共にホイール・タイヤを着けた最大幅 F135mm・R215mm となります。
・参加される小学生ドライバーは、ネックガードとリブプロテクターの着用は必備と致します。

第 58 条 APG KT クラス
・格　式　:クローズド
・出場資格　:13歳以上 / コースライセンス以上
・最低重量　:150kg
・エンジン　:日本国内仕様 YAMAHA 製 KT100SD・SC・SEC となります。
（一切の純正部品以外への改造・変更は禁止とします。）
・キャブレター:WB3A/WB21/WB33 とし、改造禁止となります。
・ジョイントキャブレター:黒色/茶色　共 26Φmmとなります。
・吸気消音機:CIK-FIA 公認又は公認実績品の吸気消音機とします。
（吸気孔 1 つの穴の大きさは 23Φmm以下となります。）
・タイヤ:メーカー自由 ドライ/ウェット共 SL 認定タイヤとなります。

メーカー	ドライ	ウェット
DONLOP	SL22	SLW2
MAXXIS	SPORTS	SLW
NEXXIVE	検討中	検討中

第 59 条 IAME REED JET クラス
・格　式:クローズド
・出場資格:13歳以上(当該年度)/ コースライセンス以上
・エンジン:IAME PARILA REED JET JPN-100cc とし、改造不可、キャブレター・エキゾーストパイプ・点火装置(プラグ・プラグキャップを除く)を含むエンジン本体がメーカー出荷状態であること。
・キャブレター:メーカー純正品　TILLOTSON 製　HL398A 又は HW33 A
（改造・部品交換禁止）
・マフラー:メーカー純正品(マフラーキャップも含む)に限る。
（キャップに IAME 刻印があるもの)改造禁止とします。
・ギア比指定:7.5～7.6 (天候に関わらず固定とすること。)
・タイヤ:DUNLOP(DL)製 ALL WETHER　SL-98
・ホイールサイズ:フロント 130mm / リア 180mm(アルミ製を使用する事)
・最低重量:150 kg

第 60 条 TILLOTSON 4st クラス
・格　式:クローズド
・出場資格　:13 歳以上(当該年度)/ コースライセンス以上
・エンジン　:TILLOTSON 製 4ストローク 改造禁止となります。
エギゾーストパイプ、点火装置(プラグ、プラグキャップを除く)を含むエンジン本体が出荷状態であること。
・キャブレター:メーカーは TILLOTSON 製で工場出荷時標準品とし、改造は禁止とします。
・マフラー:メーカー純正マフラーに限るります。

・シャーシー：自由
・最低重量：155 kg
・タイヤ：DURO 製 ドライ SL　/ MAXXIS 製 ウェット SLW

第 61 条　APG X30 クラス
・格　　式：クローズド
・出場資格：13 歳以上（当該年度）/　SL－Bまたは JAF 国内JrB 以上
・エンジン　：IAME PARILA X30 改造禁止となります。
　　なお、一切の純正部品以外への改造・変更は禁止となります。
・シリンダー：選手権規定ではシリンダー上下に打刻があるものに限るが、以前
　　の打刻がない物も使用可とします。
・エキゾーストマニホールド：X30 ジュニア仕様排気リストリクター
　　ジョイント 22.7mm径（部品番号 X30125370J）に限ります。
・マフラー：ワンピースマフラー（部品番号 X30125715）に限ります。

・電気系統：現行部品に加え、下記の部品も使用可となります。
　　ワイヤーハーネス（部品番号 X30125935-C、X30125935D-C）
　　イグニッション SELETTRA（部品番号 X30125950、X30125952）
　　ハイテンションコイル（部品番号 X30125955）
　　スターターリレー（部品番号 X30125941、IFE-05200）
　　ケーブルハーネスアダプター2012-2013 変換用（部品番号 X30125939）
・キャブレター：TILLOTSON HW-27A のみとし、改造は禁止となります。
　　リペアパーツは純正品に限ります。
・インテークサイレンサー：現行品（部品番号 X30125740）に限ります。
・プラグ：一般市販となります。
・ギア指定：　天候に関わらず下記のギア数に固定となります。
　　フロント　11丁　/　リア　72丁
・チェーン　＃219　のみ。
・最低重量：155 kg
・タイヤ：DUNLOP（DL）製 ドライ SL-22/ ウェット SL-W2
※全 6 戦中ドライタイヤ（SL-22）の使用セット数を 3 セットまでと制限します。
　保管は参加者で行い、次戦使用時に公式車検にて登録確認を行うこと。
※タイヤの使用制限を超えた場合は有効ポイントを超えたレース分を減算する。
※ギア比について
　優勝者は、次戦においてドリブンを 1 丁下げる（11 丁×71 丁）ハンデとなります。
　優勝しなかった場合はハンデを解除します。

第 12 章　保険金支給の規則

第 62 条　負傷時の受診義務

・大会期間中に負傷した場合、指定の病院にて診断を受けなければならない。
　受診していない場合は保険の適用から除外される。

第 63 条　支給される保険金

・補償項目　:死亡・後遺障害　/　保険金額＊500　万円

・死亡保険金:傷害を被り、その直接の結果として、事故の発生からその日を含めて 180　日以内に死亡した場合、死亡・後遺障害保険金の金額。既に支払った後遺障害保険金がある場合は、死亡保険金を支払った金額を控除した残金となる。

・この保険の対象となる傷害事故が発生した場合には、東京海上日動火災保険までただちに連絡。ケガの状況や程度を書面で　30　日以内に通知する事、正当な理由なく通知のない場合は保険金が支払われないことがある。

・後遺障害保険金

【後遺障害】:治療の効果が医学上期待されない状態であって、被保険者の身体に残された状態においても回復できない機能の重大な障害に至ったもの、又は身体の一部の欠損を言う。傷害を被りその直接の結果として事故発生の日からその日を含めて 180　日以内に後遺障害が生じた場合、その傷害に応じて、死亡・後遺障害保険金額に 4%～100%割合を乗じた金額。

・保険期間を通じて、合算して死亡保険金額が限度となる。

・入院保険金:傷害を被り、その直後の結果として入院した場合、支払い対象となり、「入院日数」は 180　日（支払限度日数）を限度とする。

第 64 条　保険金が支払われない場合

・次のようなことがらが生じた障害については、保険金が支払われない。

1）被保険者や保険金受取人の故意、又は重大な過失によるケガ。
2）けんかや自殺行為・犯罪によるケガ。
3）無免許運転・麻薬等を使用しての運転及び酒気帯び運転している間に生じたケガ。
4）むち打ち症・腰痛等で医学的他覚的所見のないもの。
5）地震・噴火又はこれらによる津波・核燃料物質の有害な特性、戦争・内乱・暴動によるケガ。（テロ行為は除く。）

※この保険の対象となる障害事故が発生した場合には、東京海上日動火災保険までただちに連絡。ケガの状況や程度を書面で　30　日以内に通知する事。正当な理由なく通知のない場合は保険金が支払われない事があります。

※SL カートミーティング参加の際には SLO　安全協力会（スポーツ安全保険）に必ず加入が必要となる。SL　認定以外のクラスは、　SLO　安全協力会（スポーツ安全保険）に加入する事を推奨とする。

イエローコーション（ニュートラリゼーション）とは？

※競技中、赤旗まではいかないと判断した場合、ニュートラリゼーションが発動される。

・全てのコーナーポストから黄旗が振動されると同時に、SLOW ボードが提示されコース上はイエローコーションとなる。

・この場合、競技走行中の選手は、トップを走っているドライバーを先頭に 1 列の隊列で周回をかさねる。（解除されるまで 1 列走行が続く。）また、1 列走行中のラップも競技周回数とカウントされる。場合によっては解除されず、赤旗となる場合や競技終了になる場合もある。その時点で、規定周回数に達していれば競技は終了となる。但し、赤旗になった場合は、赤旗の対処となるので注意する事。健介

・下記図のようにニュートラリゼーション中の対応を表記しますので、円滑な競技再開に向け、各ドライバーはドライバーサイン・スピード調整・リスタートに向けてのルールを覚える事。

【ニュートラリゼーション中】

・走行中全車は、先頭のカートの後ろにつき追い越し禁止とする。

・先頭のカートは安全を考慮し、適切なスピードでの走行を義務付けるものとし、後続のカートは出来るだけ間隔を詰めて必ず 1 列走行とする。

・ニュートラリゼーション中、ピットインはできるが、コースに復帰するタイミングはオフィシャルの指示に従い、隊列の一番後ろに着くものとする。

【ニュートラリゼーションの解除前】

・各コーナーポストは黄旗を静止指示する事で次の周からレースが再開される事を意味する。

【ニュートラリゼーションの解除】

・コントロールラインで緑旗が振られることで、レース再開となる。
・ドライバーは 1 列をキープしたまま走行し、追い越し・加速できるのは
コントロールラインを越えてからとなる。違反した場合はペナルティの対象とする。
・競技再開前、先頭のカートからポジション復帰禁止の目印オレンジライン手前より、
加速が許される。但し、1 列はコントロールラインを越えるまで継続し、追い越しは
出来ないものとする。競技再開はコントロールラインを越えてからとする。
・コントロールライン手前から、1 列隊列からはみ出し、追い越しを始めた場合、
隊列違反ペナルティが課せられる。
・緑旗は、先頭のカートが 1 周するまで全コーナーポストで振動され、
イエローコーションは解除となる。

2026 RMC APG SERIES 車両規則表

2026年 1月 1日現在

クラス	格式	エンジン規定 形式	エンジン規定 改造	オイル	吸気規定	プラグ	シャーシー 機種	シャーシー リアアクスル	最低重量	タイヤ メーカー	タイヤ ドライ	タイヤ ウェット	出場年齢（当該年度）	出場資格
Micro MAX ※3	ク	125 Micro MAX EVO	切削付加工 等の一切の改造禁止 及び純正部品以外への変更を禁止	ROTAX	メーカー純正 デロルト XS	NGK	ホイールベース 最大長950mm	30Φmm以下 ギア固定 フロント 15T リア 73T	105 kg	MOJO	C2	※8 CW	小学1年生 ～ 中学1年生	コースライセンス以上 SL-カデット or SL-B以上 or JAF国内JrB
Mini MAX	ロ	125 Mini MAX EVO		XPS DYE			サブシート ステー禁止	30Φmm以下 ギア固定 フロント 14T リア 73T	115 kg				小学3年生 ～ 中学2年生	SL-カデット or SL-B JAF国内JrB
Junior MAX		125 Junior MAX EVO		or	インテークサイレンサーは純正品	GR8DI-8	一		145 kg		D2	W5	小学5年生 ～ 17歳	JAF国内JrB以上 JAF国内B以上 国際Gライセンス
Senior MAX	ハ	125 MAX		XPS SYNMAX オイル				50Φmm	160 kg		D5		14歳～	JAF国内JrB以上 JAF国内B以上 国際F,Eライセンス
MAX Masters ※5	ズ			or	Version2を取り付けなければならない。	or	般		165 kg ※5		D2		25歳～	JAF国内B以上 or JAF国内条件付以上 or SL-B 国際Eライセンス
MAX Lights ※5	ド			Xeramic Full	使用できる部品・組あわせはTechnical Regulations	GR9DI-8	市	以下	160 kg ※5		D1		15歳以上	コース ライセンス
MAX Lights KYOJO	※6			Synthetic 2T	2026 MAX Lights 参照		販		150kg				※7 14歳以上	以上
MAX Lights Junior	※6				デロルト XS/QS/QD				145kg				11歳以上	

※1 ゼッケンの下地と文字はMAXシリーズは全てのクラスが下地：黄色 / 文字：黒色とする。

※2 グランドファイナル出場可能年齢は2026年1月1日～12月31日までにTechnical Regulations2026に記載されている年齢及び各ライセンス条件を満たしてなければならない。

※3 小学1年生でMicro MAXクラスに出場する場合は、推薦状が必要となります。

※4 Micro MAX / Mini MAX / MAX Masters / Junior MAX / Senior MAX クラスは「MAX FESTIVAL」対象クラスとなります。

※5 MAX Masters / MAX Lightsクラスに出場する選手で、60歳以上は規定の重量より－5kg、70歳以上は規定の重量より－10kgとします。(誕生日を過ぎてから。)

※6 MAX Lights KYOJOクラスとMAX Lights Junior混走となります。

※7 MAXLights KYOJOクラスの出場年齢を15歳以上から14歳以上に変更 （2025年11月17日 変更）

※8 Micro/Mini クラスのウェットタイヤをW5→CWに変更（2026年1月1日 変更）

2026 SL APG SERIES 車両規則表

クラス	格式	エンジン規定		オイル	吸気規定	プラグ	シャーシー		最低	タイヤ			出場年齢	出場資格
		型 式	改 造				機 種	リアアクスル	重量	メーカー	ドライ	ウェット	（当該年度）	
CADETS FRESHMAN	クロ	YAMAHA KT100SEC or 125 Micro MAX EVO	切削付加工	YAMAHA 規定 MAX 規定	YAMAHA純正品 or MAX純正品 改造及び部品交換禁止	メーカー指定品	SLOカデット 認定・JAF登録・Mini規定OIK	30Φmm以下 全長960mm 以下	100kg	DL or MOJO	SL J SL 2	SL W2 or W 5	小学1年生以上	コースライセンス以上
YAMAHA カデット オープン	ロ	KT100SEC	等の一切の 変更・改造	OIK公認 オイル または	WA3A・21・33 改造及び部品交換禁止 リストリクター14.5Φmm テーパージョイント装着 （品番指定）	メーカー 自由 改造禁止	公認シャシー	全幅1200mm 以下	110kg	DL	SL J	SL W2	小学2年生以上	SL-カデット or SL-B
YAMAHA SS	ロ	クラッチ・セル スターター付	及び純正部	SL0認定 オイル	WA3A・21・33 改造及び部品交換禁止 26Φmmジョイント装着 （品番指定）	ネジ山長 19mm以下	一般	50Φmm	145kg 153kg	DL	SL 22	SL W2	小学6年生以上 30歳以上	SL-B以上
YAHAHA スーパー SS	ロ													
APG KT	ズド	国内仕日本様 KT100SD-SC-SEC	品以外への	自	自 由	プラグ ワッシャー	市販		150kg	DL MAXXIS NEXXIVE	SL22 SPORTS 検討中	SLW2 SLW 検討中	13歳以上	コース
IAME REED JET	ド	IAME PARILA REED JEET 100	変更を禁止	を含めて	メーカー純正				150kg	DL	ALL WEATHER SL 98			ライセンス
TILLOTSON 4st		TILLOTSON製 TPP-225RS 4st		由		市販状態 とする。	TILLOTSON T4	以下	155kg	MAXXIS to DURO	※4 DURO SL	MAXXIS SLW		以上
APG X30		IAME PARILA X30	とする。		TILLOTSON製	メーカー自由 市販状態	一般市販			DL	SL 22	SL W2		SL-B以上 or JAF同等 JrB以上 or JAF同等RB

※1 ゼッケンの下地と文字は全てのクラスが下地：黄色 / 文字：黒色とする。

※2 YAMAHA カデット オープン / YAMAHA SS / YAMAHA スーパー SS クラスは「SL認定クラス」として開催致します。

※3 CADETS FRESHMAN クラスは混走するがエンジン毎に表彰するものとする。（別表彰とする）

２０２６　APG RACE　SERISE　賞　典（各戦）

２０２５年　１１月１１日現在

クラス	格式	エントリー費	優　勝	２　位	３　位	４　位	５　位	６　位
Micro MAX		会員　１５,０００円 非会員１７,０００円	盾＆副賞	盾＆副賞	盾＆副賞	副賞	副賞	副賞
Mini MAX		会員　１５,０００円 非会員１７,０００円	盾＆副賞	盾＆副賞	盾＆副賞	副賞	副賞	副賞
MAX Lights		会員　１５,０００円 非会員１７,０００円	盾＆副賞	盾＆副賞	盾＆副賞	副賞	副賞	副賞
MAX Lights KYOJO	ク	１０，０００円	盾＆副賞	盾＆副賞	盾＆副賞	副賞	副賞	副賞
MAX Lights Junior		会員　１５,０００円 非会員１７,０００円						
MAX Masters		会員　１５,０００円 非会員１７,０００円	盾＆副賞	盾＆副賞	盾＆副賞	副賞	副賞	副賞
Junior MAX	ロ	会員　１５,０００円 非会員１７,０００円	盾＆副賞	盾＆副賞	盾＆副賞	副賞	副賞	副賞
Senior MAX		会員　１５,０００円 非会員１７,０００円	盾＆副賞	盾＆副賞	盾＆副賞	副賞	副賞	副賞
CDAETS FESHMAN		１０，０００円	盾	盾	盾			
YAMAHA カデット オープン		会員　１５,０００円 非会員１７,０００円	盾＆副賞	盾＆副賞	盾＆副賞	副賞	副賞	副賞
YAMAHA SS		会員　１５,０００円 非会員１７,０００円	盾＆副賞	盾＆副賞	盾＆副賞	副賞	副賞	副賞
YAMAHA スーパー SS	ズ	会員　１５,０００円 非会員１７,０００円	盾＆副賞	盾＆副賞	盾＆副賞	副賞	副賞	副賞
APG KT		１０，０００円	盾	盾	盾			
IAME REED JET		１０，０００円	盾	盾	盾			
TILLOTSON ４ｓｔ	ド	１０，０００円	盾	盾	盾			
APG X 30		会員　１５,０００円 非会員１７,０００円	盾＆副賞	盾＆副賞	盾＆副賞	副賞	副賞	副賞

※　副賞及び賞金については出場台数によって下記の通りに変更されるものとする。

	出場台数　１５台以上
優　勝	賞　金　３０，０００円
２　位	賞　金　２０，０００円
３　位	賞　金　１０，０００円

※　但し、出場台数が１４台以下の場合は、賞品に変更されます。

２０２６　APG RACE SERIES 賞

※　各クラスシリーズ賞については、出場平均台数が１５台以上の場合のみとし、１４台以下の場合は軽減させていただきます。

クラス	総合優勝	総合２位	総合３位	クラス	総合優勝	総合２位	総合３位
Micro MAX	トロフィー 米１５０kg	トロフィー 米９０kg	トロフィー 米６０kg	YAMAHA カデット オープン	トロフィー 米１５０kg	トロフィー 米９０kg	トロフィー 米６０kg
Mini MAX	トロフィー 米１５０kg	トロフィー 米９０kg	トロフィー 米６０kg	YAMAHA SS	トロフィー 米１５０kg	トロフィー 米９０kg	トロフィー 米６０kg
MAX Lights	トロフィー 米１５０kg	トロフィー 米９０kg	トロフィー 米６０kg	YAMAHA スーパー SS	トロフィー 米１５０kg	トロフィー 米９０kg	トロフィー 米６０kg
MAX Lights KYOJO / Junior	トロフィー 米１５０kg	トロフィー 米９０kg	トロフィー 米６０kg	IAME REED JET	盾	盾	盾
MAX Masters	トロフィー 米１５０kg	トロフィー 米９０kg	トロフィー 米６０kg	TILLOTSON ４ｓｔ	盾	盾	盾
Junior MAX	トロフィー 米１５０kg	トロフィー 米９０kg	トロフィー 米６０kg				
Senior MAX	トロフィー 米１５０kg	トロフィー 米９０kg	トロフィー 米６０kg	APG X 30	トロフィー 米１５０kg	トロフィー 米９０kg	トロフィー 米６０kg